

## シンポジウム「宗教的情操教育」をめぐる諸問題」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 哲学委員会哲学・倫理・宗教教育分科会  
日本宗教学会
2. 日 時 平成 20 年 9 月 15 日（月・祝） 9：00～11：00
3. 場 所 筑波大学筑波キャンパス 第一エリアC棟2階 1C210教室  
（茨城県つくば市天王台1-1-1）
4. 次 第

### 開催趣旨

宗教教育を問題にする際に、宗派教育、宗教知識教育、宗教的情操教育という三つのカテゴリーに分けて考えるのが通例となっているが、このうち最も厄介な問題をはらみ、最も議論を呼ぶのが宗教的情操教育である。宗教情操教育をめぐる議論は現在行き詰まりの状態にあり、タブー視される場合すらあるように見受けられるが、宗教教育の核心をなす部分であり、棚上げにしたままではできない。グローバル化が進行し、社会が大きく変化するなかで、このカテゴリーが妥当であるのか、議論をタブー視させているものは何なのか等、原理的などころから議論を始めてみたい。

司会：宮家 準（慶応義塾大学名誉教授、国学院大学講師、日本学術会議連携会員）

### I 講 演

- 1) 氣多雅子（京都大学教授、日本学術会議会員）  
「宗教学の立場から「宗教的情操教育」を考える」
- 2) 葛西康德（大妻女子大学教授、日本学術会議連携会員）  
「宗教的情操を考えるいくつかの視点—古代ギリシアとの比較—」
- 3) 岩田文昭（大阪教育大学教授）  
「道德教育における宗教的情操概念の変質と実態」
- 4) 土屋 博（北海学園大学教授、日本学術会議連携会員）  
「情操と知識の間」

コメンテータ：桂 紹隆（龍谷大学教授、日本学術会議連携会員）

### 参加申込方法

事前申込みは必要ありません。